

時代とともに変わる「乗り物」



14 乗って遊ぶおもちゃ

竹馬、ホッピング、ローラースケート、スケートボード。乗って遊ぶおもちゃは海外の影響を受け、時代によって変わりました。形は変わっても、体を使って乗りこなす楽しさは子どもたちを夢中にさせます。

文・篠口純子

歴史

竹馬 竹馬は、2本の竹竿に横木をつけて足を乗せ、歩く遊びです。もともと竹馬と呼ばれたものは、1本の竹でした。葉のついた竹にひもをかけて馬に見立ててまたがり、走り回って遊んでいたようです。平安時代中期の書物には「竹に騎りて遊ぶ童」という語句があります。この竹馬は江戸時代には馬の頭を模した飾りをつけた春駒に受け継がれていきます。

ホッピング 戦後、流行したのがホッピングです。1本の棒に足を乗せる板とバネがつき、上部の取っ手をつかんでビョンビョンと跳んで遊びます。アメリカで美容体操に使った「ポゴ・スティック」からヒントを得て、日本で1955年に発売されました。翌年、大流行しますが、長時間跳び過ぎて胃腸障害を起すなどのうわさもあり、57年にチームは終息。しかし80年ごろにホッピングが発売されると、再び流行しました。

ローラースケート ホッピングと入れ替わるように80年代後半に流行したのがローラースケートです。ローラースケートを滑るアイドルグループ「光GENJI」が大ヒットし、ローラースケートが人気となりました。

スケートボード 1990年代になると日本ではアメリカの若者たちのファッションにあげられ、スケートボードが人気になります。スケートボードは、20世紀初期にアメリカのカリフォルニアで、サーフィンの短い板にローラースケートの車輪をつけて誕生。日本でも60年代後半に一時的にブームになりました。現在はスポーツとしても受け入れられ、日本だけでなく世界でも大会が開かれています。



竹馬 戦前から戦後にかけて子どもたちの遊びの定番でした



ホッピング 1956年に流行しました



ローラースケート 80年代後半に流行しました。最初は前後に2輪ずつついていましたが、90年代ごろから1列4輪のインラインスケートが広がっていきます



スケートボード アメリカの若者のファッションへのあこがれからスケートボードが人気に



ヒールーズ 2000年にアメリカで発売された、かかとに車輪がついたローラースケート。1999年、テキサス州のロジャー・アダムスさんが考えました。幼いころからローラースケートに親しんできましたが、遊んだ後にはき替えなければならぬことに不便を感じていました。そんなある日、「かかとにだけ車輪があれば、すべるのも歩くのもすぐに切り替えられる」とひらめきました。早速、スニーカーのかかとを切り落とし、スケートボードの車輪を取り付けてみました。こうしてヒールーズが誕生したのです。



ブレイブボード スケボー発祥の地アメリカ・カリフォルニア州のRazor社が開発。2008年、アメリカおもちゃ協会の「トイ・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました

ブレイブボード バランス感覚養う

2枚の板をならせて乗るスケートボード「ブレイブボード」が小学生に人気です。

日本では2008年11月、販売代理店「ビタミン・ファクトリー」(東京都渋谷区)から発売されました。代表取締役、渡辺未来雄さんがアメリカ・ハワイで、現地の子どもが遊んでいるのを見かけたのがきっかけです。

「転んでも負けない強い子が増えるように」と願いをこめて、英語で「勇気」を意味する「ブレイブボード」と名づけて発売しました。

「一見難しそうに見えるけれど、乗ってみるとかたんだ。達成感が味わえるのがよいのかもしれない」と話しました。



ソチ五輪に出場した角野友基選手

五輪スノーボードも愛用

ソチオリンピック(五輪)に出場したスノーボードの角野友基選手は、小学生のころからブレイブボードに乗っています。ブレイブボードに乗ることで、動的バランス感覚が養われます。動的バランスとは、サッカーで走りながらボールを蹴ったり、バスケットでドリブルをしたり、動いている時のバランス感覚で、さまざまなスポーツが必要とされます。楽しく運動ができるのも人気のようです。

竹馬 運動会、手作り、全国大会も...

バランス感覚を養い、体力づくりを目的に竹馬を取り入れている学校もあります。宮城県丸森町立金山小学校では1971年から「竹馬運動会」を開いています。今年も1月17日、厳しい寒さの中、児童52人が竹馬に乗って風船割りやサッカーなど熱戦をくり広げました(写真)。

東京都江戸川区立大杉東小学校も、竹馬活動を続けています。5、6年生は切り出した竹を使って竹馬を手作り。1月24日には40回目の「竹馬運動会」が開かれました。

竹の産地である京都府向日市では毎年冬に、大人も子どもも参加できる「たけうま全国大会」が開かれます。今年で13回目。約200人が参加し、30分走や障害物競走などが行われました。

